

# 目指すのは建設サービス業、その思いは？

— 美建工業 吹野寿史さんに聞く —



代表取締役 吹野寿史さん

## 当たり前前のごことを当たり前前 面白そう、楽しむことが原動力

マンション・ビル・工場をはじめとする大規模修繕から、アパートや戸建てのリフォームなど、大小規模を問わずさまざまな建物の防水工事・塗装工事・外壁修繕を得意とする美建工業(東広島市高屋町)。「建築業ではなく建築サービス業」と自社の事業を説明する社長の吹野寿史さんに「サービス業」という言葉に込めた思いと、仕事との向き合い方を聞いた。(梶津利江)

—社長の経歴をきかせてください。

学生時代から建設業に携わり、現場で作業をしてきました。大学在学中から建設会社で働き始め、25歳の時に一人で防水業者として独立。リフォームでの防水工事をしながら塗装を経験。ビルやマンションの施工管理、新築も手がけるようになり、ほぼ全ての建設業を経験しました。その中で感じたのは、建設業界は専門用語が多くお客さまに分からないことが多いということ。不透明なことが多い業界ともいえます。お客さまをだましたくないので、私たちは「気になることはありますか?」としつこいくらいお聞きします。そんな思いが、建築サービス業という言葉につながっています。

—建設サービス業とは?

つまり、お客さまにとって本当に必要かどうかを考えることです。「当たり前」という言葉にだまされることなく、その工事がそもそも必要なのか、そこまでのレベルが必要なのかと検討します。工事がなくなれば売り上げが減ることにもなりますが、やらなくてもいいことはやらなくていい。お客さまには費用の負担が減り喜んでいただけます。当たり前のごことを当たり前前にしてお客さまに喜んでいただくことが仕事のやりがいとなっています。

—ブログやSNSなど情報発信に積極的です。

早くからホームページやSNSによる情報発信には取り組んできましたが、2023年1月から専属スタッフを置いてより強化しました。建設業は怖いというイメージの払しょくと、東広島の方に弊社を知っていただくためです。仕事も会社も、家族も恋愛も、透明で風通しがいい方がいいですね(笑)。おかげさまで、SNSで大規模修繕を受注できました。

—仕事のデジタル化にも力を入れています。

一人が現場にいてカメラで撮影をすれば、現場にいないスタッフも情報を共有できます。デジタル化を進めることで、海外でも宇宙にいても仕事ができるようになるはず。手間や時間を省くことで、別のことも取り組みます。私は実際の業務には直接必要ないビルメンテナンスについて勉強するなど違う知識を自分の中に入れることを楽しんでいます。関係ないと思っていたことが話のネタになったり、ほかではない提案になったり。面白そう、楽しそうという気持ちが仕事につながっています。



広報担当の黒川梨奈さん(左)と  
設計・事務担当の渡辺直子さん(右)

—楽しむことが原動力なのですね。

スタッフにも面白いと思うことをどんどんやってほしい。それが仕事につながるとよりいいですね。興味があることに挑戦することは、働く選択肢を増やすことにつながるはず。長く働き続けられる会社になると考えます。

—挑戦したいことは?

建物のコンサルティング業です。賃貸マンションオーナーさまや戸建てオーナーさまに向けて、建物が生まれて解体するまでの長期にわたる修繕計画作成や、修繕工事のポイント、何をするために何の工事をした方がいいのか? 建物のオーナーライフを楽しむために無駄なことを省いて、その建物にあった提案をさせていただきます。

[美建工業のホームページ\(https://biken-kougyou.co.jp/\)](https://biken-kougyou.co.jp/)

企業情報

美建工業株式会社

〒739-2105 広島県東広島市高屋町檜山30(西条ICオフィス)

TEL:082-426-4540 FAX:082-426-4541

Email : info@biken-kougyou.co.jp

Instagram:@biken\_kougyou X(旧Twitter):@biken\_kougyou